

令和2年度岡山市市民協働推進モデル事業 最終評価表

実施団体	NPO 法人オカヤマビューティサミット	協働部署	こども福祉課	記入日	令和3年3月31日
------	---------------------	------	--------	-----	-----------

1. 事業の目標と達成状況

※ BS：オカヤマビューティサミット

目標	目標に対する最終の状況と自己評価	ESD・市民協働推進センターより
<p>新規受講生の就労につながる技術の取得と就労</p> <p>&lt;目標数値&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① BS 修了試験合格率:100%</li> <li>② 就労率:80%</li> <li>③ 賛同企業数の拡大:20社</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●最終状況                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①BS 修了試験合格率:100% (11名中11名)</li> <li>②就労率:72.7% (11名中8名)                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・フェイシャルコース:67% (3名中2名)</li> <li>・ボディコース:100% (4名中4名)</li> <li>・ネイルコース: 50% (4名中2名)</li> </ul> </li> <li>③賛同企業数の拡大:130%(26社) 求人募集について、187社に投げかけ26社が賛同した。 うち9社(20名)から求人があった。</li> </ul> </li> <li>●評価                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①受講生の理解を補う補講の実施や実技の動画での提供により、全受講生が合格できた。</li> <li>②ネイルコース以外では高い就労率になった。                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・8月終盤より就労に向けた面談を開始したことが、早い段階での、受講生の就労への意識付けに繋がった。</li> <li>・1年間での技術習得が難しいネイルコースについては、就労率は低くとどまった。今後、講座の持ち方などについて、検討の必要がある。</li> <li>・ひとり親の雇用について理解のある企業を把握し、その企業に対して求人希望の有無を確認した。新型コロナウイルスの感染拡大という背景はあったが、2019年度(9社15名)と、ほぼ同様の求人希望数を得ることができた。</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>●今後の対応                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・講座は、法人の独自講座を活用し、ひとり親が受講しやすい仕組みとして構築し、改善を重ねながら継続実施予定。</li> <li>・受講生が全員修了試験に合格できるよう、引き続き、定期的な補講を実施する講座とする予定。</li> <li>・ひとり親の雇用について理解のある企業を増やすため、啓発活動を継続する。</li> </ul> </li> </ul>	<p><b>【相互理解の原則】</b> 団体が当事者支援をするにあたり市の制度を学んだり、行政が講義式や修了式などに参加するなど、事業を通じて相互に理解を深めることができた。</p> <p><b>【目的共有の原則】</b> 定例ミーティングでのこまめな状況共有と共に、各事業について、ひとつずつ目的を確認しながら進めることができた。</p> <p><b>【対等の原則】</b> 行政が有する市民からの信頼と情報、団体が有する専門性とネットワークをうまく活かし、補完し合いながら、事業を進めることができた。</p> <p><b>【自主性及び自立性尊重の原則】</b> 年度当初、定例ミーティングで整理したスケジュール表と事業の全体像をもとに、役割分担をしながら主体的に進めることができた。効果を最大化するための団体による工夫(親子カフェなど)も積極的に取り組めた。</p> <p><b>【公開の原則】</b> 団体の Facebook ページやニュースレターによる情報発信のほか、岡山市の親子応援メールなどでも発信をおこない、情報公開に努めた。</p>

<p>前年度修了生の継続就労と生活向上</p> <p>&lt;目標数値&gt;</p> <p>①継続就労率:修了生の70%以上が、仕事を継続</p> <p>②生活向上の度合い:</p> <p>1) (A)~(C)いずれかの項目で改善がみられた割合 : 就労した人のうち100%</p> <p>2) (A)~(C)すべての項目で改善がみられた割合 : 就労した人のうち65%</p> <p>(A)仕事へのやりがい実感 (B)子どもと過ごす時間の変化 (C)収入の変化</p>	<p>●最終状況</p> <p>①継続就労率</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講座を生かし、美容業種に就労した2名については、100% 新たに美容業に就労した2名ともが、就労継続できている状態。</li> <li>・その他業種の2名については、50% 1名は家庭の事情でやむを得ず離職。1名は継続して働いているが美容業への転職時期などは未定。</li> </ul> <p>②生活向上の度合い 美容業種に就いている2名について、(A)~(C)について確認した。</p> <p>1) (A)~(C)いずれかの項目で改善がみられた割合 100% (2名中2名)</p> <p>2) (A)~(C)すべての項目で改善がみられた割合 0% (2名中0名)</p> <p>(A):100% 2名とも仕事のやりがいを実感している。</p> <p>(B): 0% 2名とも子どもと過ごす時間が減っている。パートから正社員になったため。</p> <p>(C):100% 2名とも収入が増えた。</p> <p>●評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美容業種に就職した2名は、正規雇用となったことで、子どもと過ごす物理的な時間は減少しているが、雇用は安定し、やりがいも得ており、生活向上が図られたと評価できる。</li> <li>・1期生への継続的な支援(個別面談等等)により、離職希望に対して速やかにフォローができ、会社との関係改善を図り、就労継続となった。</li> <li>・1期生2期生合同交流会を実施し、2期生からのインタビューに応えることで、1期生のモチベーションの向上に繋がった。</li> </ul> <p>●今後の対応 修了生と企業、双方への面談は必須とし、今後も継続していく。</p>	
<p>事業効果をもとに講座指定制度構築に向けた効果検証および情報収集</p> <p>&lt;目標数値等&gt;</p> <p>●効果検証:目的に応じた各種調査の実施</p> <p>●情報収集:</p> <p>①スクールへのアンケートの回収率:60%</p> <p>②企業アンケートの回収率:40%</p>	<p>●効果検証の最終状況:すべての調査を実施できた。</p> <p>●情報収集の最終状況</p> <p>①スクールアンケート 回収率33.3%(送付21通、回答7通)</p> <p>「就労支援」を目的としないスクールが多数あり回収率は低くなったと考えられるが、一定の傾向は把握できた。</p> <p>②企業アンケート 回収率18.5%(送付178通、回答33通)。</p> <p>人材を雇用する予定のない企業、コロナの影響で、閉店したと想定される企業が複数あり、回収率の低さに影響したと考えられる。</p> <p>●評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとり親の就労転職等のニーズ調査で、当事者のニーズが明らかとなり、今後の講座づくりや、技術習得及び就労支援の仕組みづくりに必要な情報を得られた(長期的支援・福祉的支援の必要性など)。</li> </ul> <p>●今後の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講座指定制度については、モデル事業の成果を踏まえ、岡山市において具体的検討に入る予定。講座の効果検証(受講生や修了生に対するアンケートやヒアリング)は今後も継続して実施予定。</li> </ul>	